

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897

75

極秘

大 陸 外 務 省 法 務 省 農 林 省 通 商 産業 省 郵 政 省

外務省
通商産業省

外務大臣訪米随行報告

再
田
米
長

44.6.7 米局長

大臣訪米に随行して特に気付王の兵とりまじり

以下のとおり報告する。

1. 神橋通商交渉については、いわゆる FIRST ROUND

として十二分の成果を収めたと言ふ。即ち、

(1) 米割は 現行 交渉条約及び関連取決め の枠内
において 通商を 開くと する 我方の 立場を 原則
的に 受け容れ、その 方向で 今後の 社会を 進める
ことに 同意した こと。

(2) 前記 枠内 での 解決の 方法論として 総理 大隈
領 共同声明 の 中で 掲げられた 通り、 我方が 専ら
に従い、 共同声明 の 案文 に 付 検討を 進める こと
に 同意した こと。 (従って、 従来 の 困難な 経済に
関する いわゆる FORESEEABLE CASES を 検討
して 共同声明 に 到達せんと する 我方の 提案に 対し
ては、 今回の 会議に 対して その 段階を 越え

FORESEEABLE CASES は 単に 共同声明 案文 作成
の 参考 材料 として 扱われる ことと なる こと。

(1) 米割は 通商に 伴う 取決め の 重要性を 強調し
ながら、 これは 即ち 米政府 が 通商を 如何に 現
実の 問題として 考へて いるか と する 点に あり、 若し
総理 訪米 中に ~~何~~ 何言かの 米割に ついて
合意しよう と する 米割の 希望が 達成 される 程
に 社会が 進められ、 爾後 の 通商交渉 は それ
だけ 容易 になる であろう。

見、 今回の 社会が 上記の 如く 我方の 期待通り 進行
した と する こと、 それは 今後の 社会の 難易 と する
別問題 である。 即ち、

(1) 自由主義 については、 朝鮮 半島 中心の 我方の
考へと、 欧米 諸国 を 含む、 極東 領域を 考へて いる
米割 の 向いには 大きな 懸隔 あり、 これを 日本
双方が 受諾 できる 公表 共同声明 の 案文 に
まとめる ことは 至難 の 業 であり、 然る 共同声
明の 解決 と する よう な 案文 を 作成 する こと を得ない

こととちり得るし。

(12) 核兵器については、通達時には撤去した状態に
すると言ふことを目標に半断が努力検討しある
や一断断工止るか、假に半断がそのまゝで
譲るとするも、非常事態における持込について
何身かの形の了解を求め来ることは必要であ
る。この問題は今後最も困難なものとなるべく
遺憾なく今日の段階で片末を整理する
ことはできない。

3 今回の会議を通じ、二国間協力のほか国々に対
する方針がいろいろな形ではつきり示されたと
見られる。外務大臣大隈経典の演説において、二国間大隈
経典の演説として、太平洋地域に大なる関心を
示すこと、並びに日米両国が協力して、乃至は
日本の積極的役割を米國が補充する形に
おいて、太平洋地域の安全を固めて行きたい
ことを直截に述べたことは極めて印象的であ
った。

(12) 同時に大隈経典は、各同僚が異口同音に
述べたことは、米國の協力をたくしは、いわゆる
AMERICAN PRESENCE といふものは続き得ない
と云ふことである。例へば、(1) 大隈経典自身 1967年
FOREIGN AFFAIRS 論文並びに 1953年日米協会に
おける演説に於いては、日本が CONVENTIONAL
の分野に於いては、艦艇軍備でも費用を負う
ことを期待するとは述べた。米國務省は記者
会見において日本はアジアにおける経済援助に
積極的に関与し、安全保障の分野に於いては
米國の役割を引き受けたいと云ふ意味で、日米両
國間の使命は補充的であるとの趣意を述べた。
(2) 外務省は、中絶通達に即し、國際收支上及び
予算支出上、米國に LOSS があると言ふことは
國內を視得し難しと答へた。(4) 国防省は
安全保障、北方領土問題、中共の核能力脅威の
評価等の長につき、日本の國內情勢につき仔細
に質問を試みる等、今後の米國のアジア政策
の事案也。

の形成について、わが国の動きが重要な要素と
なり得ることを示すものである。更に会後の
以外に、例として、原子力の権威 RICKOVER
海軍中將などが、十年後の日本はどうかといふと
考へると質問する等、米國指導層の耳目視が
今後如何に務り行くか、わが方として充分の心づかき
とある。

4. ④ これを要するに、仲絶通達問題は、今後何か月か
の =クリン 大段落の いわゆる HARD BARGAINING により、
交渉交渉の際に合意に達し得ることを期待さ
れるが、わが政府としては、そのような機会にわが國
の進むべき方向を確守する態度を以て内外に示す
ことが極めて重要であると思はれる。米國內に
おいては、與國に責任分担を求め、声は日を追
て更に強化するべく、米國政府としてはそのアテ改
策の OPTION はますます狭められ行くであろう。その
趨勢の中でわが國の安全と繁栄を確保し行く
ためには、わが政府がその進むべき方向を明らか

に政治的経済的責任を自主的に遂行するの
決意を示し、以て米國を以て之に協力せしめる
よる誘導するの心構がなしてはならぬであらう。
日米間にはかくして鋭意初めに本格的な轉
機を迎えようといふ感深きものあり、而もこの
轉機に処するわが方の態度は正しい國の進路
を左右する性質のものであると云ふも過言ではな
く思はれる。